



造りもんを見て喜ぶ女の子

— 小川阿蘇神社夏祭り 造りもん大会 — 力作の「造りもん」が商店街にずらり

7/15 小川町商店街通り一帯で「小川阿蘇神社夏祭り 造りもん大会」が開催されました。これは、教育・文化および地域の振興のため毎年開催されているもの。歩行者天国になった通りには、各地域や地元団体が制作された造り物が10点展示されたほか、多くの出店が立ち並び、思い思いに楽しむ人の姿でにぎわいました。



安全な搬送方法を実践する参加者たち

— 防災フェアが豊野町で初開催 — 体験して学ぶ、家族の防災

7/11 豊野防災拠点センターで「家族で学ぼう！とよの防災フェア」が初開催され、72人が参加しました。参加者は、初期消火や濃煙内からの脱出など、災害時に自分や周囲の命を守るための行動を体験。また、アルファ米を使ったカレーの炊き出しも行われ、非常食を味わいながら日頃の備えの大切さを確認しました。



あいさつする坂本会長(写真中央)

— 第76回「社会を明るくする運動」 — 犯罪や非行のない社会を目指して

7/1 市役所本庁で「社会を明るくする運動」の啓発パレード出発式が行われました。この活動は、毎年7月の「社会を明るくする運動の強化月間」に合わせて、商業施設や物産館を訪問し、犯罪や非行の防止などの啓発を目的としています。式では、宇城地区保護司会の坂本順三^{じゅんぞう}会長が来庁者などへ活動の理解を求めました。



堂々と意見を述べた発表者たち

— 令和8年度宇城市「少年の主張」大会 — 伝えたい思いを、言葉にのせて

6/27 不知火防災拠点センターで「少年の主張」大会が開催されました。市内94人の応募から選ばれた5人の中学生が、自身の経験や将来への思いなどを発表。来場者は真剣に耳を傾け、大きな拍手を送りました。前川教育長は「現実に向き合う強さ、他者に寄り添う優しさ、それを伝える表現力が素晴らしかった」と講評しました。



(写真前列左から)宮下さん、吉田さん

— 宇城地区防犯協会 地域安全功労者表彰受賞 — 非常時に必要な知識と技術を

7/7 「宇城地区防犯協会評議員会」で、多年にわたり地域における防犯活動や犯罪の予防活動に尽力した、小川パトロール隊の隊員である宮下英二^{えいじ}さんと吉田景一^{けいいち}さんが地域安全功労者として表彰されました。



子どもたちが大喜びの餅投げ

— 河江保育園 民営化10周年 — 地域に愛される園を目指して

7/19 河江保育園で民営化10周年記念式典が開催されました。園児の合唱や吹奏楽の演奏、県立小川工業高校から木製ベンチの贈呈などで節目を祝福。最後には餅投げ^{まさのり}も行われ、会場は笑顔に包まれました。寺本昌功実行委員長は「園への恩返し^{まさのり}の思いで企画した。今後も地域に根差した園であってほしい」と期待を寄せました。



「石炭ちくわ」を味わう豊野中学生

— 世界遺産登録11周年記念 特別メニュー — 給食で世界遺産を味わう

7/8 市内小中学校で「世界遺産特別給食」が提供されました。令和3年度から続く取り組みで、世界遺産を身近に感じ、関心を持ってもらうことが目的。今年は石炭をイメージした「石炭ちくわ」が登場しました。豊野中3年の本田さくらさんは「舌触りがよく、新食感でおいしかった」と話しました。



フラッグを取るために飛び込む子どもたち

— 泥だらけになって田んぼ遊び — 雨にも負けない笑顔と笑い声

7/5 松橋町豊福地区で「第6回田んぼハック」が開催されました。これは、子どもたちが泥だらけになって楽しめる場所を作ってあげたいと同校区内の農業を営む人たちなどの企画で行われたもの。あいにくの雨天にも関わらず、多くの子どもたちとその保護者が参加し、泥だらけになって楽しんでいました。